

野田市教育委員会の事業について

（青少年健全育成に関する取組）

平成28年度 取組状況



野 田 市 教 育 委 員 会
生 涯 学 習 部 青 少 年 課

○ 青少年の健全育成及び非行防止を図るため、大きく三つの重点目標を推進しました。

（１）青少年の健全育成活動の推進

（２）青少年の非行防止及び環境浄化活動の推進

（３）家庭教育学級の充実

(1) 青少年健全育成活動の推進

○地区別懇談会の開催

実施状況

地域で活動している青少年育成団体等が一堂に会して、子どもに関する部分の情報交換や意見交換、さらには事業調整など連携を図るため開催しました。

H28年度 会議内容

- 第1回
 - (1) 青少年問題協議会からの報告
 - 「平成28年度青少年健全育成活動のテーマ」について
 - (2) 学校、団体からの連絡事項について
- 第2回
 - (1) 子ども安全情報の状況について
 - (2) 学校、団体からの報告
 - ・各学校の今年度の取組状況と児童、生徒達の様子（いじめ、不登校、非行等）について
 - ・地域、団体から見た地域の子どもの様子について
 - (3) 今後の取組についての意見交換
 - 【テーマ】「子ども達を見守る時のサインの作成について」

(1) 青少年の健全育成活動の推進

○オープンサタデークラブ

実施状況

27会場で文化・芸術、体育の35講座、第1・第3土曜日の午前9時から11時まで、青少年健全育成団体等の協力により実施しました。

児童・生徒が異年齢の方々と交流することにより社会性や人間性を育む機会となりました。

オープンサタデークラブ 登録者数 (平成29年1月21日終了時)				
	小学校	中学校	合計	前年比
在籍児童・生徒 (a)	8,356人	4,007人	12,363人	△26
登録者数 (b)	1,278人	17人	1,295人	+171
登録率 (b/a)	15.3%	0.4%	10.5%	+1.4%

関係団体

24団体（18団体、個人講師6）

(1) 青少年健全育成活動の推進

○青少年柔剣道大会の開催(第61回)

実施状況

4月17日(日)野田市総合公園体育館で開催され、野田柔道会及び野田市剣道連盟による模範演技の後、柔道の部には52人、剣道の部には172人の参加をいただき部門別個人戦・団体戦が行われ、それぞれ白熱した試合が繰り広げられました。

関係団体

青少年相談員連絡協議会・青少年補導員連絡協議会・
野田柔道会・野田市剣道連盟・小中学校体育連盟

(1) 青少年健全育成活動の推進

○子ども釣大会の開催(共催:障がい者釣大会)

実施状況

平成28年6月4日(土)、旧関宿クリーンセンター調整池において開催し、129名の子ども達の参加がありました。自然の中、親やお友達、そして大会関係者等と親睦、交流を深め、楽しい一日を過ごすことができました。

関係団体

子ども釣大会実行委員会【野田市釣会連合会、野田錦鯉同好会、野田市子ども会育成連絡協議会、あおいそら運動推進委員会、東葛北部土地改良区事務所】

(1) 青少年健全育成活動の推進

○こどもまつりの開催

実施状況

平成28年10月23日（日）、清水台小学校において開催しました。子どもまつり実行委員会を構成する青少年健全育成団体16団体が、子ども達のためのアトラクションコーナーを企画運営し、そこで子どもたちの仲間作りや体験活動、地域や世代間の交流等が展開され、約800人の子ども達、保護者達が楽しい一日を過ごしました。

関係団体

こどもまつり実行委員会

【野田市子ども会育成連絡協議会、野田市リーダースクラブ、清水地区子ども会連協、野田市スカウト連絡協議会、ボーイスカウト野田第5団、ガールスカウト千葉県第88団、野田市青少年相談員連絡協議会、野田市民生児童委員協議会、野田レクリエーションクラブ、NPO野田レクリエーション協会、野田地区更生保護女性会、野田市視覚障がい者協会、生涯学習ボランティアサークルほのぼの会・クラブくらぶ、小中学校PTA連絡協議会、笑紫会、NPO学区安全サポートクラブ、野田醤油一番隊、清水地区社会福祉協議会】

(1) 青少年健全育成活動の推進

○少年野球教室の開催

実施状況

平成28年11月27日（日）、野田市総合公園野球場において開催し、指導者として招いた法政大学野球部真木コーチ及び野球部員42名から、少年野球チーム15団体、中学校野球部11校の子どもたち235名、少年野球チーム及び中学校野球部の指導者60名の計295名が野球の指導を受け、普段は決して接する機会のない方と交流すると共に、野球技術の習得、規範意識の向上を図ることができました。

関係団体

野田市少年野球連盟

運営協力（ボランティア）

西武台千葉中、高等学校混成による吹奏楽部・ダンスドリル部 84人

西武台千葉中、高等学校野球部によるグラウンド整備等 53人

（１）青少年健全育成活動の推進

〇ふるさと伝承講座の開催（世代間交流事業）

実施状況

学校支援地域本部 地域教育コーディネーターとの協働により地域の人材をご紹介いただき実施いたしました。

今回は、平成28年12月19日（月）、1月28日（土）の2日間、東部小学校において開催し、12月19日は6年生2クラス54名を対象に、野田市茶道協会の皆さんに茶道の講義と実演体験により受け継がれる日本人の心「礼法を学ぼう」を実施しました。

そして、1月28日にはイートの会の皆さんに千葉県郷土料理「太巻寿司」作りの体験を通して、日本の食文化に関心を持ってもらうと共に世代間の交流を特別支援学級の16名、保護者15名を対象に、開催し有意義な時間を過ごしました。

関係団体

野田市茶道協会 4人、イートの会 10人

(1) 青少年健全育成活動の推進

○親子映画会の開催

実施状況

平成29年3月5日（日）午後1時より野田市文化会館大ホールにおいて開催する予定。

ユニバーサルスタジオ制作の大ヒット「怪盗グルー」シリーズの第3作目「ミニオンズ」（DVD）を上映し、親子のふれあいの機会を設け、子どもの情操教育を養うべく実施いたします。

関係団体

野田市子ども会育成連絡協議会

(1) 青少年健全育成活動の推進

○ジュニアリーダー養成講習会の開催

実施状況

平成28年度は、子ども会会員17名（小学4年生4名、5年生8名、6年生5名）が受講し、1月末現在、全12回中9回の講習会が終了しています。その中で「奥久慈県立自然公園 山本公園 キャンプ場」での2泊3日の野外実習も実施されており、ジュニアリーダーの育成が図られています。

関係団体

野田市子ども会育成連絡協議会

(2) 青少年の非行防止及び環境浄化活動の推進

○非行防止のための街頭補導

実施状況

青少年センターでは、定期的に大型店・ゲームセンター等の街頭補導を実施し、非行防止及び声掛け運動が推進できました。

また、青少年補導員との合同により地域の実態を考慮しながら、集中的な街頭補導を実施することができました。

さらに、例年実施している県下一斉合同パトロールとして、中央地域を対象とした夜間街頭補導、列車補導、駅周辺集中街頭補導も実施しました。

街頭補導実施状況					
					(平成29年1月31日現在)
補導時間帯	補導少年数 (人)			回 数	従事者数
	男	女	計	(回)	(人)
午前(7時～11時)	12	7	19	292	683
午後(2時～5時)	12	13	25	300	751
夜間(6時～9時)	2	2	4	32	188
計	26	22	48	624	1,622

(2) 青少年の非行防止及び環境浄化活動の推進

○環境浄化活動の実施

実施状況

平成28年12月17日（土）青少年センター、青少年補導員、青少年相談員の三者合同による環境浄化活動（市内の電柱に貼られている違法ビラの撤去活動）を実施しました。

近年、違法ビラが少なくなってきたため、市内の状況を確認しながら実施いたしました。

環境浄化活動（違法ビラ撤去）

（平成28年12月17日実施）

違法ビラの撤去	回数	枚数
補導員・相談員	1	22

関係団体

野田市青少年補導員連絡協議会、野田市青少年相談員連絡協議会

(2) 青少年の非行防止及び環境浄化活動の推進

○子ども安全情報の配信

実施状況

不審者情報を配信することで、家庭、学校、地域が情報の共有を図り、児童生徒の安全・安心に努めました。

平成29年1月31日現在の「まめメール子ども安全情報」の登録者数は、14,781件で昨年度の同時期と比較して80件の増となっています。

次に、配信状況ですが昨年度の年間配信件数は全部で31件。1月末で比較しますと、露出が7件（昨年度6件）、声かけが18件（昨年度10件）と、今年度の発生件数が大きく増加していることから、全体の配信件数は11件増の34件（昨年1月末23件）となっており、特に木間ヶ瀬地域で発生した3件の不審者事案の内容や発生地域から同一犯の可能性が高い事案について、野田警察署に報告し早急に検挙していただくようパトロールの強化を含めお願いいたしました。

また、青少年健全育成団体が一堂に会する地区別懇談会及び地域で開催される会議等に参加させていただき不審者に遭遇した或いは不審者を目撃した場合は、警察署にまず一報のご協力をご参集の皆様方をお願いしてまいりました。

・啓発「まめメール子どもの安全情報 登録推進」

新小学1年生の保護者に対し子ども安全情報の配信状況及び加入促進のお知らせの案内を学校を通じて入学説明会等に配布いたしました。（入学予定者1,372人）

登録者件数 14,781件(前年1月末14,701件：+80件)

情報配信数 34件(前年1月末 23件：+11件)

(平成29年1月31日現在)

○子ども安全情報の配信（平成29年1月31日現在）

不審者の種類	分類	平成28年度	平成27年度	平成26年度
刃物を持っている・脅される	刃物を持ち歩く・脅される 傷つけられる		1 ※注1	2
強盗	強盗犯が逃走中・強盗に遭う			
車に引き込まれる	車に引き込まれる・引き込まれそうになる			2 ※注1
殴られる・蹴られる	殴られる・蹴られる			1
体をつかまれる・倒される・触られる	体の一部をつかむ・抱きつく・はがはいじめられる	1	5	1
	倒され首を絞められる			
	倒される・倒されそうになる	2	2	
	体の一部を触る・押される	4	2	1
	下半身を触らされる			
液体等をかけられる	スプレーを噴射される			
追いかけるられる	追いかけるられる・ついてこられる	2	4	3
	自転車・自動車で追いかけるられる			2
不審者がうろついている	下半身、全身露出	7	6	12
	写真・映像を撮られる		1	
	所持品を奪う			
	怒鳴る・声をかけられるなど	18	10	20
	その他(道にロープを張る)			
合 計		34	31	44

・平成27年度
※注1(10/20流山市)

・平成26年度
※注1(6/17市原市)
(7/25松戸市)

(2) 青少年の非行防止及び環境浄化活動の推進

○情報モラルに関する講演会

実施状況

NPO法人青少年メディア研究協会 下田真理子先生を講師として迎えて、「ペアレンタルコントロール講習会」を平成28年7月3日（日）市役所8階大会議室において開催し、56名の参加がありました。子どもたちが利用しているネット情報の現状に触れ、大人（保護者）が利用する子どもたちに無関心ではいけないことや、ネット犯罪（携帯電話）の手法が年々変化し対応が難しい現状を踏まえペアレンタルコントロール能力の向上を図ることができました。

講演内容

第1部 講演「低年齢化するインターネット利用問題」

第2部 ワークショップ「約束事について話し合う」

・啓発 市内の新中学1年生となる生徒の保護者に対しスマートフォン等を子どもに買い与える際の家庭でのルール作り、フィルタリング機能の活用に関するチラシを入学説明会等に学校から配布いたしました。（入学予定者1,334人）

(3)家庭教育学級の充実

○家庭教育学級の開催

〈目 的〉

家庭や家族を取り巻く社会状況の変化の中で、家庭の教育力の低下が指摘されていることから、家庭教育の振興を目的として、保護者を対象に家庭教育に関する講座や講演を実施するもの

実施状況

■家庭教育学級の開催

幼児及び小学生の保護者を対象に、連続講座を開設し家庭での教育力の向上を図るもの。

・家庭教育学級の実施

- ①小学生の保護者を対象に20小学校を八つのコース（地域）に分け、各公民館で延45回の講座を実施し、延べ5,475人の参加がありました。
 - ②幼児（3～5歳）の保護者を対象に中央公民館・関宿中央公民館で11回の講座を開設し、延べ262人の参加がありました。
-

(3)家庭教育学級の充実

○家庭教育学級の開催

■就学時健康診断時家庭教育講演の開催

小学校入学前児の保護者を対象に、家庭教育の必要性を理解してもらうとともに、基本的生活習慣の啓発を図るもの。

- ・就学時健康診断時家庭教育講演の実施

全小学校を対象に計画し、保護者に基本的生活習慣や入学までの心構え等についての講演を実施しました。延べ参加者数は1,171人でした。

(3) 家庭教育学級の充実

○家庭教育学級の開催

■出前家庭教育講演の開催

中学生の保護者を対象に、家庭教育のあり方と親子の関わり方や思春期の子どもの健全育成と問題行動の防止等についての啓発を図るもの。

- ・出前家庭教育講演の実施

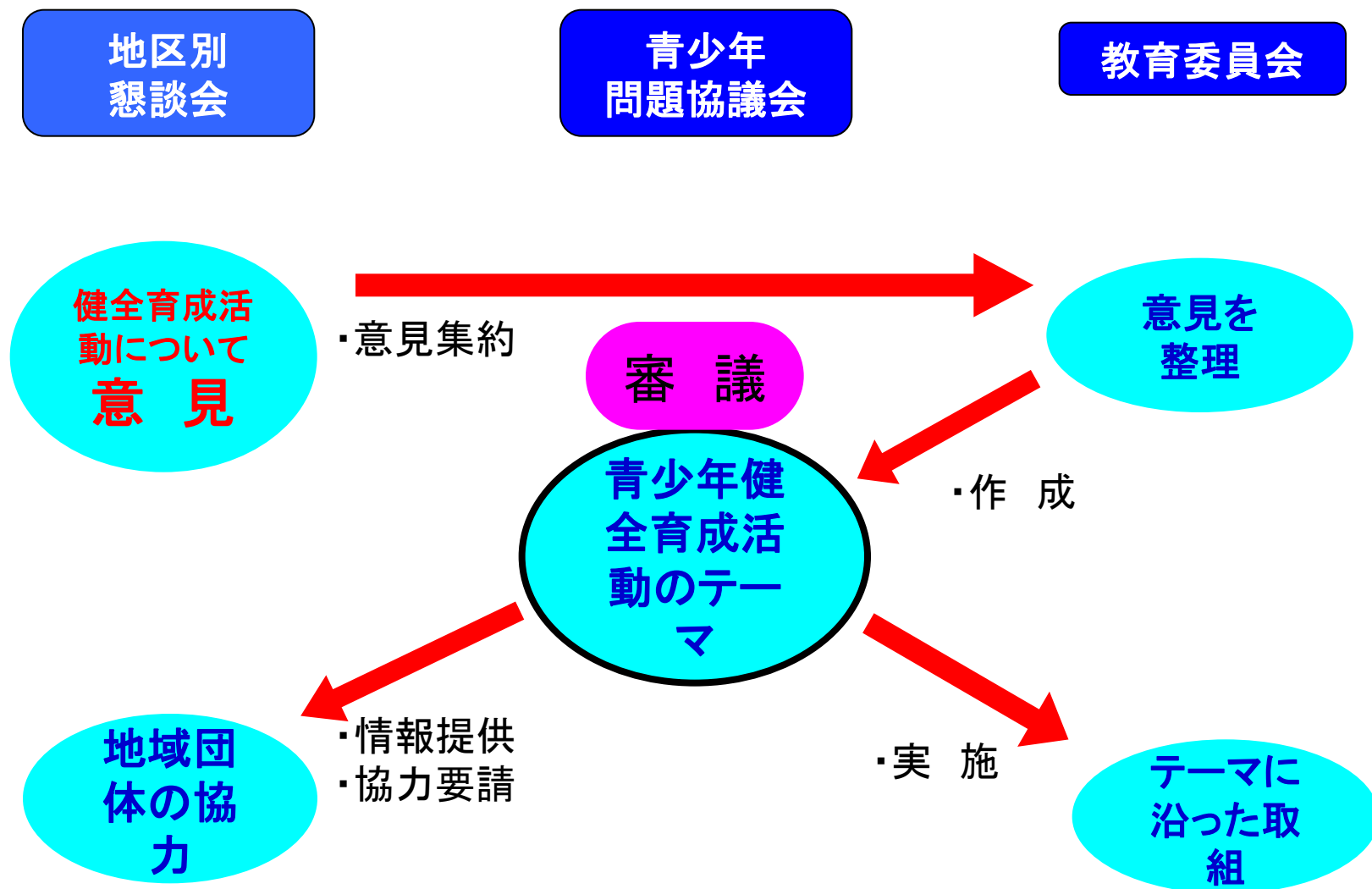
中学校行事で保護者が集まる機会を利用して家庭教育のあり方と親子の関わり方や思春期の子ども健全育成と問題行動の防止等についての講演会を実施しました。全中学校を対象に計画しておりましたが、川間中学校が都合により講演会の開催がなかったため、10校で実施し、延べ参加者数は1,411人でした。

H29年度 青少年健全育成の取組について



野田市教育局委員会
生涯学習部青少年課

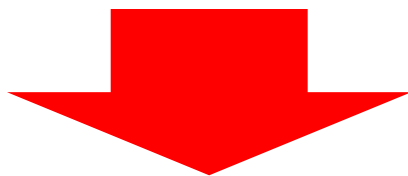
1 これまでの経過について



2 地区別懇談会からの意見について

H28年度

地区別懇談会からの意見



○ 地区別懇談会の中で、今後の健全育成活動に活かせる様々なご意見をいただき分類、整理をいたしました。

2 地区別懇談会からの意見について

1 学校・家庭・地域での「あいさつ・声かけ・会話」の推進

■学校では、市が流す「夕焼け小焼け」を合図に、家に帰るよう指導している。ですから、暗くなったら帰るように声を掛けていただき、頻繁に続くようなら、学校に連絡をしてもらって差し支えない。（第一中学校区）

■声掛けをするにも難しい点は多々あるが、通常の声掛けであれば互いが顔を憶えるということで、とても大切な事と考えていますので、今後も子ども達に愛ある声をお掛けいただくよう、お願いしたい。（川間中学校区）

2 地区別懇談会からの意見について

2 地域における健全育成活動の推進

■地域の運動会にお邪魔すると、本校の生徒が役員、あるいは補助として活動している光景をいくつも見掛けた。こうした係わりも大切と考える。（第二中学校区）

■地域の自治会長、実行組合長さんを主体に畑の先生をやらせていただいています。お陰様で、木野崎地区としては、実情は、実行組合長が行きますので、おじいちゃんなんですね。そのうちのおじいちゃんとお子さん達という形もありますし、地域のどこどこのおじいちゃんが来ているとか、やはり、学校と地域の人達との繋がりの場というのが大事ですから、自治会もそうなんですけれども、私も社会福祉協議会の方もかかわっていますので、その中でも子ども達と様々なふれあいの場をセットしております。（福田中学校区）

2 地区別懇談会からの意見について

3 子どもたちが安心できる社会環境づくりの推進

■音楽の演奏であるとか、部活動における小学校との交流であるとか、そういう中で、子ども達を地域の人達に憶えていただけるようにという事で実践している。お互いに顔を憶えあう事が、子ども達の安全に繋がると考える。（第二中学校区）

■防犯の方、いきいきクラブの方、ベストや腕章をつけるといった事をしていただいていると子ども達も安心してあいさつができる。活動服等を身に付けていない時は、多くの大人が声を掛けづらくなり、子ども達もびっくりしたり、警戒したりといった事が多々ある。（川間中学校区）

3 健全育成活動を進める上での「着目点」



- あいさつは、家庭や学校では勿論の事、地域内の絆をも強める。
- 学校、家庭、地域が連携し、大人が積極的にあいさつ、声掛けをするよう推進する。
- 安全な大人のサインについて今後とも考えると共に、あいさつ運動を推進し安全安心な地域環境づくりを目指す。
- 子ども達と地域の方々が色々な形で交流を深め、お互いの顔を知ることがとても大切。
- 地域、保護者、学校は互いに連携し、交通安全、事故防止に配慮しつつ、不審者、犯罪者から子ども達を守る見守り活動を継続する。また、子ども達自身の様子、家庭環境についても、見守り活動と捉え注視する。

4 これからの取組について

(案) 平成29年度 青少年健全育成活動のテーマ

青少年の健全育成活動を推進するためには、大人の意識改革並びに子どもたちへのさらなる見守りが重要であるという考えのもと、昨年に引き続き以下の三つの活動を今年度も推進します。

- 1 学校・家庭・地域での「あいさつ・声かけ・会話」の推進
- 2 地域における健全育成活動の推進
- 3 子どもたちが安心できる社会環境づくりの推進



4 これからの取組について



(案) 平成29年度 青少年健全育成活動のテーマ

- 1 学校・家庭・地域での「あいさつ・声かけ・会話」の推進
次代を担う子ども達を導き育むのは、私達大人の責務です。子育てや地域活動のあり方について今一度見つめ直し、大人としての意識を高め、親はもちろんの事、地域の大人達が積極的に「あいさつ」や「声かけ」そして「会話」を実践していくことが重要となります。大人ひとりひとりが家庭や学校そして職場であいさつをし、それを地域全体で広め明るく健全な地域社会をつくるよう心掛ける必要があります。
- 家庭は全ての教育の出発点であり、規則正しい生活を大切にまずは親が率先してあいさつをし、その日の出来事について話をするといった家庭環境を作る。その中で、子どもがきちんと家庭でのルール、社会でのルールを身に付けられるような家庭教育を実践する。
- 学校、保護者、自治会、青少年育成団体は、それぞれの実情を理解し「あいさつ・声かけ運動」をより一層推進するとともに、子どもの行動に目を配り、状況によっては褒める、叱るといったことも実践する。

4 これからの取組について



(案) 平成29年度 青少年健全育成活動のテーマ

1 学校・家庭・地域での「あいさつ・声かけ・会話」の推進

- 「地域全体で取組むあいさつ運動」を地域のスローガンとして提唱し、地域でイベント等を行う際は、あいさつを唱和するなどの時間を設け、地域全体で推進していることを確認、啓発していく。また、あおいそら運動推進委員会が実践している「あおいそら運動」、千葉県が実施している「青少年を健全に育てる運動」と連携を図り推進する。

4 これからの取組について



(案) 平成29年度 青少年健全育成活動のテーマ

2 地域における健全育成活動の推進

毎年各地域において、学校、PTA、青少年育成団体等が相互に連携し、子ども達を巻き込んだ事業を活発に展開しているが、平成29年度もこれまで以上に参加者が広がり、つながりのある地域となるようさらなるネットワークを活用して、大人から子どもまで多くの方々が地域活動に参加し、交流を深めることができるよう取り組みます。

- 地域の青少年健全育成に関する多様な意見に対応するため、学校支援地域本部、公民館、地域団体等と連携し、情報を共有するとともに、新たな地域の取り組みに対し積極的に協力する。
 - 地域行事を青少年の健全育成と結びつける為、各参加団体との連携を密にするとともに、子ども達が好奇心を持って参加できるような仕事、役割を与える。
-

4 これからの取組について



(案) 平成29年度 青少年健全育成活動のテーマ

2 地域における健全育成活動の推進

- 野田市には他市にはない歴史、自然環境がある。それらを活用した野田の特色ある地域行事を実施し、子ども達の郷土愛を育む伝統文化の継承そして世代間の交流をはかり明るい地域づくりを目指す。
 - 地区別懇談会を通じて、各団体の行事、教育委員会行事について周知し、場合によっては相互調整や情報交換を行う。
-

4 これからの取組について



(案) 平成29年度 青少年健全育成活動のテーマ

3 子どもたちが安心できる社会環境づくりの推進

携帯電話、スマートフォン等の普及により、子ども達を取り巻く環境は大きく変化し、インターネットによるトラブル、事件等が増えています。また、今年度は子ども達の交通事故が増えており、不審者もその数は増加しており相変わらず出没するといった状況です。大人はこうしたトラブル、事件、事故等から子ども達を守る責任があります。

そのために、インターネットの危険性について学ぶと共に、交通安全、事故防止、不審者対策、非行防止等、様々な観点から子ども達を見守り、安心安全な社会環境が実現できるよう取り組みます。

- インターネットの危険性を保護者に周知し、それを日常生活の中で子ども達に教育する。そんな家庭教育をめざし、実習を交えた講習会を実施していく。また、各青少年健全育成団体等に対しても、同様に啓発するものとする。
-

4 これからの取組について



(案) 平成29年度 青少年健全育成活動のテーマ

3 子どもたちが安心できる社会環境づくりの推進

- 不審者情報を配信することで、子ども達の安全安心を守るための意識高揚を促す。また、その効果を上げるため、メール登録者が増えるようPR活動に努める。
 - 地域安全マップを活用し、事件、事故、非行防止等の見守り活動を推進する。
 - 青少年センターが実施しているパトロールについて、不審者出没場所、時間帯の傾向、および青少年の非行行動に対応した市内重点パトロールを臨機応変に実施する。
 - 子ども達を見守る上で、効果の上がる方策について検討する。
(サインの作成等)
-